

「おもしろ読書事典」活用事例 応募フォーム

1 学校についての情報

① 校名	赤磐市立石相小学校	② 電話番号	086-957-3026
------	-----------	--------	--------------

2 取組状況

取組時期、期間等	平成26年10月27日～10月31日、11月以降の毎月第3火曜日
対象範囲	1. 学級 2. 学年 3. 学校全体 4. その他（具体的に）
教育課程上の位置付け	1. 教科（ ） 2. 学級活動 3. 児童会活動 4. 学校行事 5. その他（具体的に）

3 取組の具体

○児童朝会での図書委員会の発表（平成26年10月27日）

毎年、秋の読書週間の時期に児童朝会で図書委員会が発表を行っている。これを利用して、おもしろ読書辞典を使った全校縦割り班（6班）対抗のクイズを行った。



↑図書委員会の発表の様子



↑クイズを考えている児童の様子

クイズの流れ

- ① 図書委員会で、おもしろ読書事典に載っている本の中から6冊を選び、原作本を用意する。また、各班におもしろ読書事典を配布する。
- ② 各班長にどの本に挑戦するか、くじを引いてもらう。
- ③ 各班で、挑戦する本のクイズをおもしろ読書事典の中から探して、本を読みながら班の人と答えを考えて解答する。
- ④ 各班が答えを発表し、正解していたら、校内で取り組んでいる縦割り班ポイントラリーに加点する。

○秋の読書週間イベント（平成26年10月27日～10月31日）

全校縦割り班対抗クイズと同じ内容で、個人で参加できるクイズを秋の読書週間のイベントとして、業間と昼休みに実施した。

全校の時と違う所は、次の通りである。

- ・ 期間中の業間か昼休みに本を借りたら、1回クイズに挑戦できる。
- ・ 問題に選んだ本は1～3年生向けの5冊、4～6年生向けの5冊の計10冊で、自分の学年に相当する5冊の中から、くじを引いて挑戦する問題を決める。
- ・ 正解すると、図書委員会オリジナルの景品が当たるくじに挑戦できる。

①



②



③



- ①②クイズの答えを本を読みながら真剣に考えている児童の様子
 ③クイズに選出した10冊をひとまとめにしている特設コーナー

○1日限定、読書週間イベント（11月以降の毎月第3火曜日）

上記のイベントは大盛況で、またやってほしいという声が多数あったので、毎月1日だけ復活することになった。前のイベントから変えた点は次の通りである。

- ・ 図書委員会が問題に選んだ本は低学年向け2冊、高学年向け2冊の4冊で、どの問題に挑戦してもよいことにする。
- ・ おもしろ読書事典に載っているクイズを図書委員会が書き写して、本といっしょに掲示し、取り組みやすくする。



図書委員会が書き写したクイズ



クイズにチャレンジする児童たち

〈成果〉

- ・ ほとんどの児童が初めて読む本について答えていたので、未読の本に触れられるよい機会になった。
- ・ イベントには多くの児童が参加し、最初に用意した5冊をあっという間にクリアしてしまう児童が多数いたので、急遽15冊を追加してチャレンジ問題とした。楽しみながらたくさん本に親しむことができた。
- ・ イベント終了後も、図書の時間等でおもしろ読書事典を手にする児童が増え、「この本はどこにありますか？」と聞きに来る等、読書への興味がさらに高まった。
- ・ クイズに取り上げた本を、図書スペースで面出し展示していると、前よりよく読んだり借りたりする児童が増えた。

〈課題〉

- ・ イベントの時だけでなく、おもしろ読書事典に載っている本とクイズを毎月、できれば2週間ごとに紹介する常設コーナーを図書スペースに設置できればさらに児童の読書意欲を高めることができる。
- ・ 図書委員会のオリジナルの景品は現在、「3さつかしだしけん」、「5さつかしだしけん」、「手作りしおりのラミネート」だが、さらに児童の読書意欲を高められるよう、内容や景品そのものを委員会の児童に考えさせたい。